

ご家族懇談会開催しました

四月十五日に第七回ご家族懇談会を開催しました。

懇談会は、午前の部・午後の部と分けて実施し、午前の部では施設年間事業報告・事業計画、医務室より感染症・作業療法について、管理栄養士より食事の取り組みについての振り返りと今後の計画、各委員より事業報告・事業計画を発表し、午後の部では、ユニットの事業報告・事業計画を、各階に分かれて発表しました。

午前の事業報告では、まず、平成二十三年五月に開設した中山ちどりの連携について述べ、ユニット運営の安定化や、各種委員会活動の効率的な取り組みを模索してきた事をお伝えしました。また、平成二十三年度下半期以降には、尊厳のあるケアを心がけ、倫理観を高める研修を

実施してきた旨を報告しました。加えて、看取り介護を実践してきた事への報告にならび、医療や管理栄養士等との連携について述べ、個別対応へのさらなる情報共有を図る旨、報告しました。

平成二十四年度の事業計画の説明では、介護保険制度の改正に伴い、認知症の方への対応、医療との連携について強化を図り、また、中山ちどりとの協働で、地域とのつながりを一層深める旨お伝えしました。

最後に、職員の処分についても報告を行いました。

発表後の質疑応答の時間では、次のご質問を受けました。

Q「四月からユニットスタッフがずいぶん替わっている。今までは何人かが残って、新しい職員が入ってくるといいうパターンが多かったが、今回は一斉に替わった感じがする。お年寄りの方は長く親しんだ人の方が

安心感を持たれると思う。
替わることはごくごく普通のことだとは思いますが、替

わる時は六割ぐらいは残って、新しい方が入って来る方がお年寄りの方にとって不安感が少ないのではないかと思う。どうして今回は一斉に替わったのかが疑問に思う。」

こちらのご質問に対し、人員配置についてご説明をしました。

A「今回、結果的に一斉に替わったユニットもありますが、人数だけではなく、勤務している職員の勤務時間数を計算しながら人員配置を考えられています。これは、大きく偏ることなく、一日を通して安定的に業務が出来る時間数を確保するように検討させていただいています。今回の異動が多かったことについては、退職する職員もありましたが、結婚して転居する職員がいたり、育児休暇を取得する職員が続いたりということもあり、グループホームやデイサービスを含む施設全体を通しての人事異動としました。」



その他、長く同じユニットに所属するスタッフもおり、ユニットケアという環境の中、ご利用者と親密な関係になりすぎるといった傾向が見受けられました。そういったスタッフには新たな環境で、更なるステップアップとなるよう期待しています。

五月、六月以降は今回のように大幅に替わることはないと思いますが、先ほど申し上げた通り、深く信頼関係を築くということと、親しくなりすぎるといった境界を見極め、ご利用者にとって安心していただけるサービス提供に努めたいと思います。」とお答えしました。(回答・田中)

午後の部では、各ユニットにて報告会を行い、意見交換の場となりました。

終了した後は、どのユニットリーダーも、サービス向上のヒントになるような意見を沢山頂いて、有意義な機会となったと言っていたことが印象的でした。

最後になりましたが、お忙しい中懇談会に多数ご参加いただきまして、

誠に有り難うございました。今回皆様からお聞きした貴重なご意見やアンケート結果を参考に、ご利用者のより豊かな生活につながるようサービス向上に努めたいと思います。

(市枝)

ユニット報告

桜台・雲雀ヶ丘ユニット

気候も暖かくなった為、近隣の公園に外出しお花見を行いました。

天気も良く、満開の桜をご覧になったご利用者は、

「綺麗やね」と笑顔で話され、楽しまれていました。

春の訪れを感じて頂き、良い気分転換の機会になったのではないかと思います。(安藤)

グループホーム

四月九日にお花見に行きました。

お弁当を持って行き、満開の桜の下で食べました。「外で食べるご飯は



一段とおいしい」と喜んで頂きました。また、公園の遊具を見て「久しぶりにブランコしたくなったわ」「公園に來たら走り回りたいくなるわ」と童心にかえり、楽しまれていました。

(楠田)

委員会報告

サービス向上・研修委員会

四月十一日(水)開催

研修委員会では、年間の研修計画・担当を決定しました。

内部研修を通して、職員の知識の向上・スキルアップを図り、ご利用者の生活に反映出来る様、努めてまいります。(池下)

四月のサービス向上委員会・定例

会議では、言葉遣い見直しについての目標決定の為に、委員各メンバーからユニットで気になっている言葉遣いについて意見を集約しました。「〇〇されますか?とご利用者が選択しやすい声掛けを心掛ける。」等、貴重な意見が多く聞かれました。言葉遣いの見直しは、最重要課題の一つと捉え、推進していきます。

また、カラオケ喫茶サークルを五月中に実施する予定となっています。日程などが決まり次第、ご家族の皆様にも伝わるよう、館内に掲示しますので、ご都合宜しければぜひご参加下さい。(市枝)



研修委員会では、高齢者虐待防止に関するグループワーク研修の実施について日程調整を進めました。本研修は、一斉に多数の職員が受講する全体研修と異なり、十名前後の少人数で行い、より意見が出しやすいグループワーク形式を取り入れ、職員同士で倫理感を高める目的のもと、定期的に関催しています。(有田)

給食衛生感染症対策委員会

四月十七日(火)開催

給食委員会では日頃の食事について意見を出し合いました。刻み食の魚料理が食べにくいとの意見より、今後の提供方法を検討しました。

五月より刻み食の焼魚にはとろみあんを添える、煮魚には煮汁をたっぷり含ませる事で様子を見ていきます。その他、ユニットに常備している調味料類の使用頻度の調査や賞味期限の管理、冷蔵庫の清掃についても話し合いました。

四月の行事食の「出張にぎり寿司」は雰囲気作りも工夫し、本場のお寿司屋さんの気分を味わって頂きました。



感染症対策委員会では、危機管理の一つとして感染症発生時に感染の拡大を最小限に抑えられるよう、必要品の準備や毎日の換気時間の確認を行いました。また、気候も良く

なってきたので加湿器の使用は中止する事をとり決めました。(森田)

事故防止委員会

四月二十四日(火)開催

事故防止委員会では一ヶ月の間に起こった事故・ヒヤリ事例を集計、その中から注目すべき事例を挙げ、職員間で情報を共有しました。

四月はマニュアルの見直しとして、事故が起こってしまった際などに作成する「ヒヤリハット・事故報告書」の作成に関するマニュアルについて見直しを行いました。

「第三者に対して、どのような事故が起こったのかその報告書を読むことですぐ理解できる。」「ご家族・医務・事務などに速やかに連絡・報告が行なえるような伝達ルートの設定」などを盛り込んでマニュアルを再編していきます。(米澤)

地域交流委員会

四月二十五日(水)開催

四月の委員会では、近隣の保育園の園児を宝塚ちどりにお招きし、一緒に歌やゲームを楽しんでいただく

「世代間交流」の内容について協議しました。

宝塚ちどりとしては初の試みとなりますが、お互いに交流を深めることができ、良い刺激につながればと期待しております。

また、当委員会の目標でもある「外出イベントの活性化」に向けて協議しました。各ユニットでの外出イベントをサポートしていく取り組みを展開していく予定です。(森本)

防災安全チーム

四月二十日(金)開催
定例会議では一階の喫煙室にある灰皿に吸い殻を溜めないようにすること、次回の避難訓練について話し合いを行いました。

現在、喫煙室は一か所だけですが、使用頻度も多いことから灰皿の中に吸い殻が溜まっていたり、時が時々見受けられました。火を扱う場所



あることから、吸い殻を溜めないようにするため、喫煙したスタッフは喫煙の度に吸い殻を持ち帰るようにしました。周知の方法としては喫煙室内にポスターを貼るようになります。避難訓練は三カ月に一度行う予定にしており、次回は六月に行う予定にしています。(笹尾)

ユニットリーダー変更のお知らせ

平成二十四年五月一日付で変更となったユニットリーダーをお知らせします。

仁川・武庫川ユニット

都崎 律子(つざき りつこ)

ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

生活相談課よりお知らせ

現在、介護保険負担限度額認定(居住費・食費の減免)を受けられている方は平成二十四年六月三十日までの有効期限となっています。後ほど、

保険者(市町村)から更新のための申請書類が送られてくるかと思えますので、届き次第申請をして頂きますようお願いいたします。申請を行うと、介護保険負担限度額認定の対象者には証明書が発行されますので、届きましたら宝塚ちどりまでご提示お願いします。ご不明な点がございましたら宝塚ちどりの笹尾までお申し出下さい。(笹尾)

節電の取り組みについて



昨年の四月度と、今年の四月度の使用電力量を比較したところ、約十%の削減に至っていました。

特に、照明については、暗くなりすぎないように注意し、五月以降は通常対応しております。(田中)

編集後記

五月に入り、春をとばして、夏が来たような暑い日々、長袖が欲しい寒い日もみられます。季節の変わり目はくれぐれもご用心を。(楠田)

